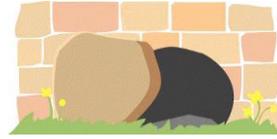


風のように



甘木教会

主任牧師：白川道生 牧会委嘱牧師：竹田孝一

9:3 ところが、サウロが旅をしてダマスコに近づいたとき、突然、天からの光が彼の周りを照らした。9:4 サウロは地に倒れ、「サウル、サウル、なぜ、わたしを迫害するのか」と呼びかける声を聞いた。9:5 「主よ、あなたはどなたですか」と言うと、答えがあった。「わたしは、あなたが迫害しているイエスである。9:6 起きて町に入れ。そうすれば、あなたのなすべきことが知らされる。」

使徒言行録9：3～6

21:18 はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。21:19 ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

ヨハネによる福音書21：18－19

【説教要旨】 召命

聖書日課は、ペテロとパウロの召命の聖書記事です。ペテロについては正確に言えば、新たな宣教への召命記事です。ペテロの一回目の宣教への召命は、イエスさまが宣教を開始始めた直後に、ペテロを召命します。「1:16 イエスは、ガリラヤ湖のほとりを歩いておられたとき、シモンとシモンの兄弟アンデレが湖で網を打っているのを御覧になった。彼らは漁師だった。1:17 イエスは、『わたしについて来なさい。人間をとる漁師にしよう』と言われた。

1:18 二人はすぐに網を捨てて従った」

そして、今日は復活直後の召命記事です。

21:18 はっきり言うておく。あなたは、若いときは、自分で帯を締めて、行きたいところへ行っていた。しかし、年をとると、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれる。21:19 ペトロがどのような死に方で、神の栄光を現すようになるかを示そうとして、イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

では、「行きたくないところへ連れて行かれる。」とは、具体的にどういうことなのでしょう。ヤッフォでの異邦人伝道への召命です。

「10:28 彼らに言った。『あなたがたもご存じのとおり、ユダヤ人が外国人と交際したり、外国人を訪問したりすることは、律法で禁じられています。けれども、神はわたしに、どんな人をも清くない者とか、汚れている者とか言ってはならないと、お示しになりました。10:29 それで、お招きを受けたとき、すぐ来たのです。』使徒言行録」

「ユダヤ人が外国人と交際したり、外国人を訪問したりすることは、律法で禁じられています。」

異邦人と交わることは、ユダヤ人にとって律法を破る行為です。ペトロにとって、越えられないものです。それは私たちが想像する以上の困難をともなう行為です。また、自分自身もユダヤ人という殻を破って変化しなければならないのです。社会からの圧力、自分そのものを変えていく恐れは、両手を伸ばして、他の人に帯を締められ、行きたくないところへ連れて行かれることです。

「『わたしはあなたのためには、いのちを捨てます』、その時のペテロの言葉は、どんなに善意にみち、真剣なものであったか……。しかし、ペテロはイエスを置いて逃げてしまったのです。ペテロの中に生きている人間としての弱さ、卑怯さを、ペテロ自身どうすることも出来なかったのです。イエスを裏切ったという事実を否定することも告白することもできません。」①しかし、人が行きたくないところの大切な神の使命の場所にこんな弱い人間を神は召命するのです。しかし、弱いペテロを招くのです。「ペテロは使徒として立つ前に、やはりこの裏切ったという事実を真正面からみつめなければならないのです。人間は弱く、醜いも

のです。あやまちや罪を避けられる人間は一人もいないはずで、人間のすばらしさは、あやまちや罪を直視して、ゆるしを願い、そこから立ち上がることにあります。あやまちを直視することです。イエスは、ペテロの三度の裏切り行為に、真っ向から向かっていきます。

『わたしを愛するか』と三度たずねます。『あなたがすべてご存じです』三度目の問いに、ペテロはすべてをイエスにゆだねます。ペテロの弱さも善意もご存じであるイエスさまの愛と憐みの上にペテロは再生します。」。イエスさまの愛と憐みの上に再生されたペテロゆえにイエスさまにとって大切な宣教、世界宣教、行きたくないところへ連れて行かれるのです。

彼はキリストを迫害した人ですが、パウロもキリスト教の世界宣教を担い、キリスト教を確立した人物です。では、彼は強い人だったのでしょうか。「12:9 すると主は、『わたしの恵みはあなたに十分である。力は弱さの中でこそ十分に発揮されるのだ』と言われました。だから、キリストの力がわたしの内に宿るように、むしろ大いに喜んで自分の弱さを誇りましょう。12:10 それゆえ、わたしは弱さ、侮辱、窮乏、迫害、そして行き詰まりの状態にあっても、キリストのために満足しています。なぜなら、わたしは弱いときにこそ強いからです。」。彼は、強い人でなく、弱さをよく知っていた人です。「こうしてペテロの新たな宣教の道が始まります。教会の活動は、弱い人間の真ん中に立って、その弱さを担い、ゆるし、支える復活されたイエスの愛と力強さの体験から始まっていたのです」②

私たちは今、行きたくないところへ連れて行かれていて、弱い存在です。私たちが強いから召命したのでなく、弱いゆえに主は、ここに私たちを召命し、自分を変革することを求められ、時代の弱さを担い、このわたしたちのすべてをご存じである主の愛と憐みに生き、「私があなた方を愛したように隣りを愛する」者とされています。

時代はすごいテンポで変わっています。教会として新たな宣教の道が始まっています。

イエスはこう言われたのである。このように話してから、ペトロに、「わたしに従いなさい」と言われた。

引用:①②(「神のやさしの中で」森一弘補佐司教、女子パウロ会)

牧師室の小窓からのぞいてみると



「司祭になるためにはどうすべきか、ということです。……人を司祭にするのは、主の働きかけです。主が招かれるのです。……この招き(イエスさまの招き)を大切に、それが成長して教会全体の中で実りをもたらすように祈りなさい。」(「叙階の秘跡」の項より)

教皇フランシスコの言葉。

悪魔が支配する時代だから、主イエスが共にいて、「他の人に仕えたい、信仰を教え、洗礼を授け、ゆるし、感謝の祭儀をささげ、病気をいやす奉仕のために全生涯を用いたいと望み」を起こしてくださいます。

※「秘跡 聖霊のたまもの 教会 —教皇講話集」 ペテロ文庫

園長・瞑想？迷走記



先週、H幼稚園の月、一回の運営者会議をした。少子化のなかで、この四月から施設型給付園・利用定員60名から認定こども園幼稚園型・利用定員45名に認可され、経営の安定化を目指すばかりである。これから認定こども園幼稚園型でどうなるかわからないというのが状況で、制度変化にともなう準備をするということだろうが、時代は大きく変化している。そんな悠長なことは言っておれない。確実に状況の変化と取り組みつつ、大変化している世界の中でこれからをどうするかということにすぐに取り組まなければ園の経営は、遅かれ早かれ息詰まるだろうと私は思う。

実に経営していく者にとって、厳しい状況がある。

これに取り組めるのは、教育・保育に 堅実に、真摯に取り組んでいる現場があり、指導している、副園長、主任の働きと職員の一一致があってこそできる。第一は、時代の大変化の中でこどもに寄り添い、どう教育、保育していくかがあって初めて経営のことも考えられる。さらに教育・保育の質を高めていくということを第一とすることであると思っている。幼稚園にとって超厳しい時代であるからこそ夢を語り、実現できる時だと思っている。

日毎の糧

命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。詩篇23：6



ルターの言葉から



「悪魔は信仰者を、内的には恐怖を与えることによって、外的には偽りの教師による策略や、圧倒による暴力などによって苦しめることを決してやめないうで、彼（ダビデ）はここで最後に、この宝（福音）を与えてくださった神が、また彼を終わりまで傍らで守ってくださるように熱心に願ひ、『ああ、愛する神が、恵みといつくしみは命のある限りいつも私を追う、という恵みをお与えくださるように』と言う。また同時に、彼は、『恵みといつくしみ』によって意味しているもの、すなわち、『主の家に永久にとどまることができること』をここで示している。」

（『慰めと励ましの言葉 マルティン・ルターによる一日一生』

湯川郁子訳 徳善義和監修 教文館）

神の現実

不可解の生を「永遠の相」でみるのが信仰者の歩みだという。「『時間・空間のうちに生きる生の謎の解決は、時間・空間の彼方にもとめられるのだ』・・・再度いえば、『永遠の相の下に』見てゆかねばならないのである。そしてそこではパウロが語るように『わたしたちは、今は、鏡におぼろに映ったものを見ている。だがそのときには、顔と顔を合わせて見ることになる。わたしは、今は一部しか知らなくとも、そのときには、はっきり知られているようにはっきり知ることになる。Iコリント13:12』のであって、癒された私が神の前に立っているにちがいないのである。」（神の仮面 江口再起著 リトン）

人の時間・空間に神は隠されている、「**あなたがわたしと共にいてくださる。**」という事実が私たちの事実であり、「**命のある限り／恵みと慈しみはいつもわたしを追う。**」ということが私たちの現実である。永遠のうちにあっては、「**主の家にわたしは帰り／生涯、そこにとどまるであろう。**」という。はっきり知られているようにはっきり知ることになるということが起きる。

祈り：主の慈しみの現実を受け入れることができますように。

甘木通信

教皇フランシスコⅡ



私の人生と共に生きた教皇は、パウロ6世、ヨハネ・パウロ1世、ヨハネ・パウロ2世、ベネディクト16世だった。しかし、いつも自分の傍にいて、光となって導いてくださったのは、教皇フランシスコであった。

「親愛なる友人の皆さん。イエスの次のことばを心に響かせましょう。『平和を実現する人々は幸いである。その人々は幸いである、その人たちは神の子と呼ばれる』(マタイ5・9)。わたしたちは、常に回心しなければ交わりは実現しないことを熟知しながらも、自分の共同体の中で分裂や無理解に陥ってしまいます。回心とは何でしょうか。中傷でもなく、批判でもなく、陰口でもなく、すべての人の善益を望む恵みを主に願うということです。これは、主が与えてくださる恵みです。これが回心です。そして、わたしたちの関わり合いによって日々が織りなされるものが、イエスと御父との美しい喜びにあふれた結びつきを、よりいっそう映し出すものとなるように祈りましょう。」(秘跡 聖霊のたまもの 教会—教皇講話集 ペテロ文庫)と「唯一の、聖なる教会」という項で述べています。

その目的は、「わたしたちは、すべてのキリスト者の一致のために働き、イエスが望み祈り求めた一致への道を進む」ことだと言われています。全国教会総会、牧師会を前にして教会の一致こそが福音の進展だと思えます。だからこそ回心、悔い改めが必要です。

ルター95か条の提題、「私たちの主であり、師であるイエス・キリストが、『あなたがたは悔い改めなさい・・・』と言われたとき、彼らは信じる者の生涯が悔い改めであることを欲したもうたのである」ということです。

(甘木日記)土)キリスト教講座、詩篇の構造について。体調も良く、夕刻より草取り。感謝。甘木泊。日)朝、体調も良く、草取りと掃除をして信徒さんを待つ。Iさんの納骨式礼拝。恵まれた時であった。月)病院へ行った後、羽村幼稚園の運営会議。厳しい時代にあって、運営を迅速しなければならない。火)祝日、東京で欲しい本を探す。水)日善幼稚園で仕事。木)羽村幼稚園の今後の方針の概要作成と送付。松崎保育園での聖書の学び、礼拝を担当。家内は甘木へ。診断結果を聞くために 久留米に。幼稚園で引き継ぎ。金)今日は関わる幼稚園、教会へ不在の時の事務処理。

おまけ・牧師のぐち（続日記）牧師だって神さまの前でぐちります。ぐちらない聖人（牧師）もいますが。



土) 夫婦で午前中から甘木教会へ。午後はキリスト教講座で、詩篇の構造とその思想、新約聖書への流れについて話す。体調も良く、陽射しの強い昼を避けて夕刻より、芝生花壇の草取り。広すぎる、さて、どうするか。**日**) 早朝からゆっくりと掃除、草取りをしていると礼拝の時間になっている。Iさん

(**園庭の白の藤**) の納骨式のご遺族が教会に来られて礼拝時間が近づいているのに気づく。ご遺族と一緒に礼拝が出来て、礼拝後、納骨式に行く。その後、空港まで送っていただく。東京へ。**月**) 午前中、病院に行き、午後から羽村幼稚園の管理者会議に出席。時代が激変していく中でどう運営していくか、迅速に、確実にしていくことが迫られている。幸い教育・保育の内容は良く、教育・保育を実現するためにどう運営すればよいかということだけを考えればよい。**火**) 教文館へ行き日善幼稚園の創立記念日の葉を購



(**ハラリ氏の力作**) 入。レーモンド、ポーリスに関する本を捜しに日本橋、丸の内丸善に行く。購入する。現代のAIの分析と人類はAI どう付き合っていくかというハラリ氏の本を見つける。まだ、クレドという本を読んでいないので今回は購入を諦める。一万円以上購入すると送料無料というサービスを受ける。助かる。**水**) 日善幼稚園に一日中いる。**木**) 早朝、起きて、羽村幼稚園の



今後の方針の概要作成と関係者に送付。教育・保育をさらによりよくするための経営を考える。午前中は家内と一緒に松崎保育園での聖書の学

(**小さな名もない花が癒してくれる**) び、礼拝を担当。「野の花を見よ」という聖書箇所。家内は甘木へ。久留米に病気の診断結果をおしえていただくと病院より電話あり、引き返す。わざわざ電話をしてもらうとは良い結果ではあるまい。日善幼稚園は、110年の創立記念日礼拝

新任の大和牧師が礼拝を司ってくださる。家内が書いた葉と紅白饅頭を渡す。近所の方々にも一緒に祝っていただきたく紅白饅頭を持って行く。私の入院が決まり事務引き継ぎを急遽する。羽村にも電話で園長、副園長、園長補佐、副理事長にも説明をする。ばたばた



(**教会の庭に咲いた花・赤が綺麗**) した午後の時だった。**金**) 午前中は昨日を受けて今後の日善幼稚園の骨子を製作。そして、メールで教会設置者に送る。教会信徒代表に電話で連絡をする。また、甘木教会役員にも引き継ぎメモを送付し、次週日曜日に協議する。忙しくしていると昼食を食べるのも忘れていた。一ヶ月分の「風のように」を作ろうかと思うが頑張るまい。すべてに時あり。